



# 佐々木中学校だより

E-mail [sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp](mailto:sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp)

電話 0254 (27) 2505

## 目の前の一步に全力で

今年3月に平昌で開催された冬季パラリンピックのスノーボード(種目:バンクドスラローム)で、成田緑夢(なりた ぐりむ)選手が金メダルを獲得しました。

成田選手にはパラ五輪に出場するまでに、とても辛いケガの体験があります。平昌パラリンピックよりも5年前の2013年4月に、トランポリンの練習中に大きな事故を起こし、左足の全十字靭帯や半月板を損傷し、医師から「今後歩ける可能性は2割」「切断の可能性もある」との宣告を受けました。その後、4回の手術を受けましたが、左ひざから下の感覚は戻らず、左足を自由に動かすことができなくなりました。ケガを負ったアクシデントの直前に、初めて出場した世界ジュニア大会のハーフパイプで優勝を果たし、将来すばらしい戦歴を積み重ねていくことが大いに期待されていました。

前途洋々とした時期に大きな事故に遭い、左足が不自由になるというハンディを抱えても、緑夢選手は「前を向く」気持ちを決して失うことなく、周囲の励ましを受け、



退院半年後にはウエイクボード(水面を滑るウオータースポーツ)の大会に出場し、健常者を退けて、見事に優勝を飾りました。優勝直後には、障害をもつ知人から「ケガをしても頑張っている緑夢選手の姿を見て、勇気をもらいました。ありがとう。」とのメッセージが届きました。緑夢選手は、この時初めて「スポーツをする意味」を真剣に考えました。

◇自分がスポーツをすることで、誰かを励ますことができる。

◇オリンピックは無理でも、パラリンピックに出場して活躍することができる。

◇障害のある人や、ケガでスポーツを諦めた選手の夢や希望になることができる。

ここから、パラリンピックに向けた努力が始まりました。しかし、練習を繰り返しても、動かなくなった左足に棒が刺さっているような感覚はとれず、足の痛みも小さくはありませんでした。足にケガを負った後で初めて出場したパラスノーボードの国内大会では優勝できましたが、国際レベルの大会では4位でした。国際大会で、上位選手の競技レベルの高さを直接目にして、

◆「この大会の上位入賞選手たちは、本当に障害をもっているのか?!」

と感じ、障害をもっても競技に真剣に取り組む選手のレベルの高さに愕然としたと言います。

その後も、世界のハイレベルの選手との差に挫けること無く、他国の義足をつけた選手や同じような障害をもつ選手のアドバイスに素直に耳を傾け、工夫を重ねました。

平昌パラリンピックでの金メダル獲得後のインタビューで「大きなケガを負ったことで、緑夢選手が得たものは何ですか。」と尋ねられたときに、次のように答えています。

■「自分の夢です。僕のプレーを見る人たちに感動や勇気を与えたいという夢です。」

冬季パラ五輪での金メダル獲得後には、緑夢選手は、スノーボード選手を引退し、現在は、夏季五輪の東京大会への出場を目指しています。逆境にも挫けない強い意志と逞しい勇気をもつ緑夢選手のモットーは「**目の前の一步に全力で**」です。

## 学習面と部活動面での目標

1年 YS

僕の夏休みの反省は、2学期の定期テストに向けた勉強に計画どおり取り組めなかったことです。夏休みに入る前には、2学期の中間テストのために、夏休みの宿題をしっかりと行うことを一番に考えて計画を立てたのですが、長い休みの間に少し気がゆるんでしまい、計画よりも学習の進度が遅れてしまい、テスト勉強が満足にできませんでした。夏休みは終わってしまいましたが、テスト勉強が満足にできなかったという反省を課題にして、これから毎日、自分で計画を立てて学習を続けていこうと思います。



僕の2学期の目標は2つあります。一つ目は、勉強面で全ての教科でバランスよく学習することです。僕は勉強があまり得意ではなくて、得意教科と不得意教科の差が大きいので、自分では不得意の部分を目指して、そこだけを集中して勉強していました。そうすると、他の教科がおろそかになってしまい、うまく成績を伸ばすことができませんでした。これからの勉強では、得意と不得意の区別を全てリセットして、不得意の1教科の成績だけを上げようとする取り組み方をやめて、全ての教科を均等に学習するようにして、全体の成績を上げていくようにしていきます。不得意教科と得意教科を区別して学習量に差をつけたりしないで、どの教科も同じくらい取り組むことで、どの教科もバランスよく成績を伸ばしていきたいです。2学期は、一学期に不足していた所を補って、より励んでいきたいです。

二つ目は、部活動面でよい成績を残すことです。新人戦に向けて、夏休みに新しい技のトレーニングや自主トレーニングを欠かさずに行いました。これからも練習に力を入れて取り組み、大会で練習の成果を発揮したいです。そして、実力を付けて、いつか先輩に追いつけるようにがんばりたいです。学習面と部活動面で1学期には十分達成できなかった部分を補いながら、2学期を充実させたいです。

## 文武両道を目指します

2年 IM

平成最後の夏休みはとにかく暑かったです。気温が高く、暑い夏休みでしたし、私自身も、部活動、勉強、体育祭に向けた応援団の練習など多くのことで熱くなれた夏休みでした。

毎日猛暑の中、午前8時から8時30分頃まで駅伝の朝練習をしてから、陸上部の練習に取り組みました。慣れない長距離走の練習はとても辛かったです。毎日の食事にも気を付けて、疲れや暑さから体調を崩さないように努力しました。



夏休み中に、県の1・2年生陸上競技強化合宿に参加することができました。そこで、教えてもらったことを意識して、部活動に励みました。毎日の練習に休まずに参加して、夏休み前よりも十分に技と力を身に付け、十分に日焼けして、充実した夏休みとなりました。

学習面では、学習課題を後回しにしてしまい、今までの夏休みと同じ反省が残った夏休みとなりました。

私の目標は「文武両道」です。2学期には、体育祭、駅伝大会、新人戦など多くのイベントがあります。中間テストもすぐにやってきます。どちらも、良い記録、良い成績を残せるように努力して、部活動でも勉強でも自分に厳しくし、両立を目指してがんばりたいです。

### 全力で取り組み、最高の思い出をつくりたい 3年 MM

私が夏休みに頑張ったことは、夏期講習と自主学習です。夏期講習が無い日でも、行ける日は、出来るだけ塾に出かけて、自主学習を頑張りました。夏休みの課題も夏休みの前半のうちに終わらせることができたので、良かったです。夏期講習では、1年生の学習内容からの復習などにたくさん取り組み、忘れていた所などを思い出すことができたので、自分にとって有意義な夏休みの学習になりました。

2学期に頑張ることの一つは、中間テストです。1学期の期末テストでは、計画をしっかり立てたものの計画通りに進めることが出来ずテスト直前に焦ってしまいました。今回の中間テストでは、目標を達成できるような計画を立てて、計画通りに進めて、テスト1週間前にはテスト範囲の復習が一通りできるように、しっかり課題を終わらせたいです。そして、総合点でも、前回の期末テストよりも50点はアップできるように頑張ります。もう一つ頑張りたいことは、行事です。体育祭と合唱コンクールは中学校生活最後の行事となるので、全力で取り組み成功させるだけでなく、3年生として、後輩のお手本となるような姿勢で臨みたい。何よりも全力で楽しんで、最高の思い出を作りたいです。

一日一日を大切に、思い出に残る2学期になるよう、2学期始業式の今日から頑張ります。



## 三市北蒲原地区「わたしの主張」大会で「奨励賞」受賞

佐々木中学校を代表して3年生 Sさんが、平成30年度新潟県少年の主張大会の「新発田市大会」、そして「三市北蒲原地区大会」に出場しました。

7月28日(土)に新発田市生涯学習センターで行われた新発田市大会では、「優秀賞」を受賞し、次の三市北蒲原地区(新発田市、阿賀野市、胎内市、北蒲原郡聖籠町)大会への出場権を得ました。8月22日(水)に聖籠町文化会館で開催された三市北蒲原地区大会でも堂々と自信をもって発表し、「奨励賞」を受賞しました。身振り手振りを交えながら、「人と違うは『個性』」というタイトルでの話の内容が聴衆にしっかりと届くように、三市北蒲原地区大会では、新発田市大会のとき以上に落ち着いた態度で、一言ひとことを、心をこめて伝えていました。多くの聴衆に向けて自分の考えを披露するというスピーチは、今後の人生にもきっと生きるであろう大きな体験となったはず。奨励賞受賞、おめでとう。



**わたしの主張大会に参加して 3年 S** 新発田市大会では優秀賞を受賞することができ、とても自信になりました。新発田市の代表の一人として、三市北蒲原地区大会に出場でき、市大会の時よりも緊張せずに発表することができました。経験を積むことの大切さを実感しました。県代表となったK中学校の生徒の発表を間近で聞き、彼女のスピーチの仕方が上手かったことと、聴衆に伝えようとする説得力の強さに驚きました。主張大会への出場を通して、自分の考えを一定量の文章にまとめ、大勢の方に向けて発表するというとても貴重な体験をもつことができました。

## 8月6日の広島平和記念式典に出席した代表生徒の感想

8月5日～7日までの3日間、新発田市内中学校から代表生徒1名ずつの計10名が広島を訪れ、6日に開催された広島平和記念式典に出席しました。

佐々木中学校からは、3年生 S さんが参加。夏休みに広島訪問という貴重な機会を得て、平和について考えてきた感想を2学期始業式に全校生徒へ向けて発表しました。

### 平和祈念式典に参加して 3年 S

73年前、広島は世界で初めて原子爆弾の被害を受けました。原子爆弾の熱線は千度以上で、町は破壊され、多くの人が命を落としました。平和記念式典には、被爆者、被爆者の遺族など多くの方が参加していました。現在、日本の周りの多くの国は核兵器を保有しており、73年前と同じ悲劇を起こしてしまう可能性があります。悲劇を繰り返さないために、私たちは、核や戦争について知らなければいけません。広島で被爆された方が今、何をしているか、皆さんは知っていますか。原爆爆弾による悲劇から生き残った方の中には、原子爆弾が落とされた後の広島や身の周りのことについて全国を回って語っている人もいます。「核兵器や戦争がどのようなものなのか、被爆体験をされた方がどのような思いで語られているのか、考えてみてください。」という、平和記念館の方の言葉が、私の耳に今も鮮明に残っています。私たちは、平和であること、生きていることに感謝し、核兵器と戦争について深く理解し、二度と悲劇を起こさないように、後世に伝えていかなければなりません。



佐々木中の全校生徒が作った千羽鶴

### 7月～8月の主な大会結果

#### 県大会（7月21日（土）、22日（日））

##### 県大会 陸上競技大会（会場：柏崎市陸上競技場）

3年 IA	100m	準決勝敗退	(17位)	12秒99
2年 IM	四種競技	第18位		2018点
2年 IM	砲丸投	第19位		9m54
3年 SY	走幅跳			5m28
3年 SY	三段跳	第13位		11m71

##### 県大会 剣道大会（会場：柏崎市民体育館）

団体戦	予選リーグ	佐々木中○	2-1	●巻西中
	敗退	佐々木中●	0-3	○吉川中

個人戦	2年 IK	二回戦	敗退
-----	-------	-----	----

##### 県大会 柔道大会（会場：長岡市体育館）

女子団体戦	一回戦敗退	佐々木中●	1-2	○小出中
女子個人戦	3年 SR	第7位		
	2年 TH	一回戦敗退		

#### ジュニアオリンピック記録突破会（8月26日）（長岡市陸上競技場）

2年 IM	砲丸投げ	第8位		9m57
2年 SH	円盤投げ	第8位		17m31

#### しばたサマーチャレンジ陸上（8月4日）（五十公野陸上競技場）

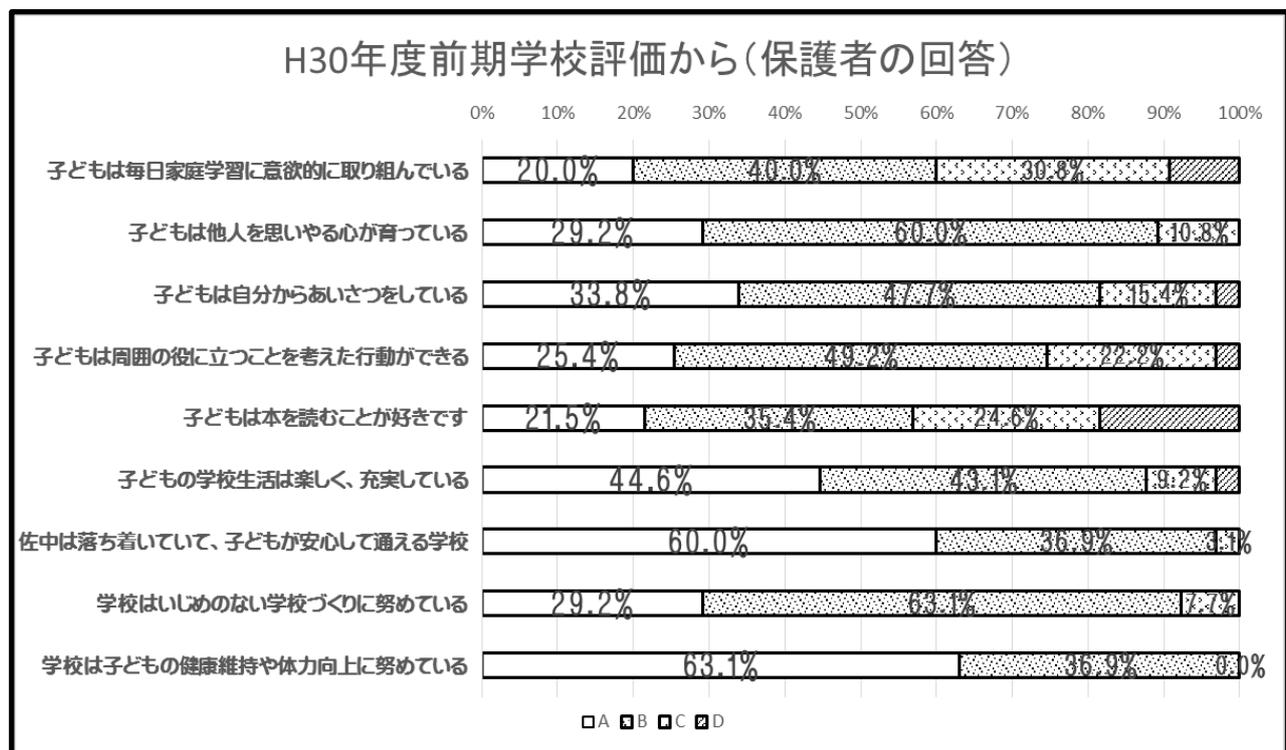
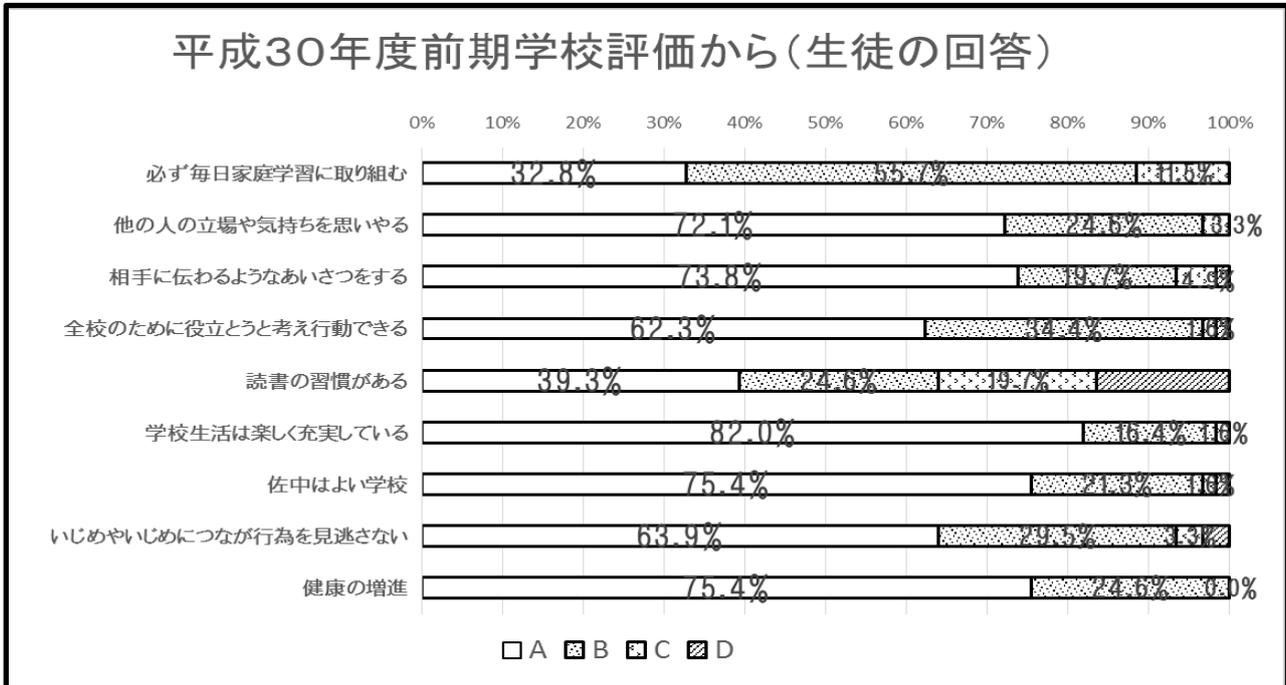
3年 IA	100m	第3位		13秒20
2年 IM	砲丸投げ	第4位		8m83



# 平成30年度前期学校評価① 保護者と生徒の回答から

佐々木中学校では、年2回（前期：7月、後期：12月）の学校評価を実施し、教育活動や学校運営の改善に役立てています。7月に実施した「前期学校評価」の回答結果のうち、生徒を対象に行った評価と保護者を対象に行った評価の結果をお知らせします。

生徒と保護者の回答を比較できるように、ほぼ同じことを問う項目を同じ順番で並べています。

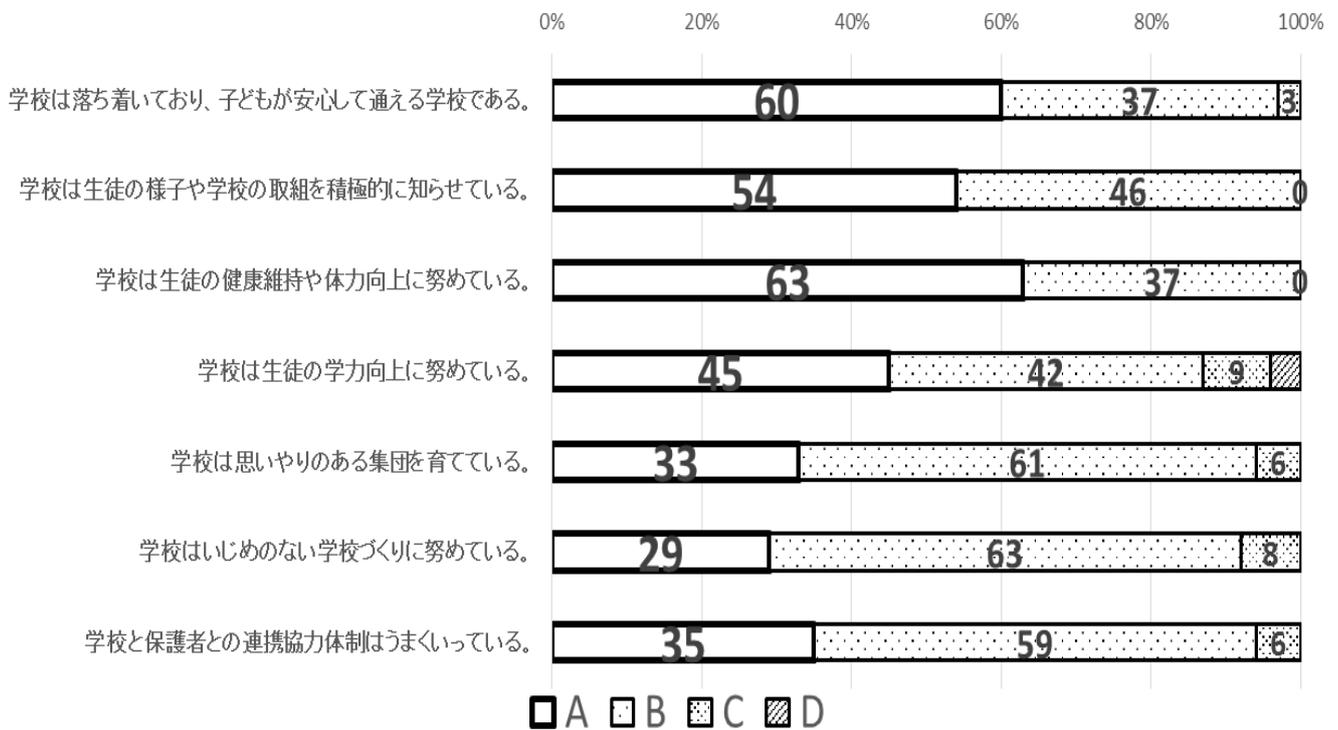


生徒の回答で肯定的評価の割合が高かったのは、「学校生活は楽しく充実している」と「健康の増進」でした。保護者の回答では、「中学校は落ち着いていて、安心して通える学校」と「学校は子どもの健康維持や体力向上に努めている」が好評価でした。

一方で、生徒の回答では、「毎日の家庭学習習慣」が肯定割合が低いですが、昨年度同時期の数値は18.3%でしたから、改善が見られています。保護者の回答と生徒の回答の両方で、「読書の習慣（読書が好き）」の肯定割合が低く、今後の改善すべき課題と考えています。

## 平成30年度前期学校評価② 保護者のみなさんからの回答

### H30年度前期 学校の取組について(保護者からの回答) %

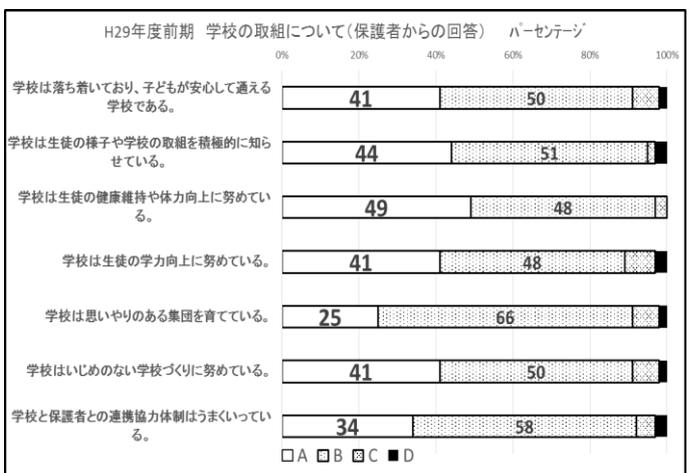


保護者の皆さんからいただいた評価回答の一部を上に紹介します。ほとんど全ての項目で A 評価と B 評価の合計値が 90% を越える好評価となりました。「学力向上」や「いじめのない学校づくり」では、保護者の皆さまの学校教育に寄せる期待の大きさを再確認できました。

昨年度同時期の結果(右の小さいグラフ)と比較しても、昨年度と同程度の評価をいただくことができました。これからも、保護者の皆さんの期待に応えていけるように、家庭や地域の声に耳を傾けながら、教育活動の充実に繋げて参ります。

#### 《保護者のみなさんの声》

- 中学校は、生徒の意見や考えをととても大切に考えてくれていると思います。
- 毎日、スマイルライフや自学ノートを点検してもらい、コメントまで書いてあり、よく見てもらっているなあと感じています。これからもよろしくお願いします。
- きめ細かく指導をしてもらえて安心して通っています。子どもも学校生活(部活動)の話を楽しそうにしてくれます。
- 生徒のモチベーションが上がるような取組がととてもいいと思います。そのおかげで、前向きに物事に取り組む姿勢が身に付いて来ているように感じます。
- 学校だより等で学校生活を知ることができます。子どもも先生方を信頼し、満足していることが、家庭で話してくれる学校の様子からも感じられます。



# 記録的な猛暑に負けず、「自主・自律」を貫いた夏休み



早朝の駅伝練習



全員でウォーミングアップ



佐々木っ子夏まつりでの  
吹奏楽部の演奏と  
ライトセーバー振り回し隊

飯島集落のみなさんとそばの種まき



8月11日 そばの種まき



3階教室でのバックボード制作



柔道と剣道部の合同練習



用務手Kさんのグラウンド除草作業

